

「学びに向かう力」の年間指導計画 年少4歳児

	年少 I 期 (4・5月)	年少 II 期 (6・7・8月)	年少 III 期 (9・10・11・12月)	年少 IV 期 (1・2・3月)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○園生活に慣れ、安心して過ごせるようになる。 ○自分の思いや考えに自信をもって表現できるようにする。 ○友達や教師に思いを伝えたり、受け入れたりしながら遊ぶ楽しさを感じる。 			
時期的	年少 I 期 (4・5月) → 年少 II 期 (6・7・8月) → 年少 III 期 (9・10・11・12月) → 年少 IV 期 (1・2・3月)			
基本的 生活 習慣	○基本的な生活習慣を身につけ、自分のことは自分でできるようにする。			
コミュニケーション力	○教師や友達に親しみをもち、かわらわろうとする。 ○自分の思いや困ったことを言葉や表情、行動で教師に伝え、受け入れてもらうことで安心したり、信頼したりする。	○友達や教師に親しみをもち、同じ遊びをしようとする。 ○遊びに必要な言葉を知り、繰り返し使おうとする。 ○周囲に自分の思いや気持ち伝える楽しさを感じる。 ○友達と会話をすることを楽しく感じる。	○友達と同じ活動に取り組む楽しさを感じる。 ○気の合う友達と共に同じ遊びを楽しみながら自分の思いを受け入れてもらったり、友達の思いを受け入れようとしていたりする。	○ルールを守り、友達と一緒に遊びを楽しむ。 ○友達に優しくしようとしたり、優しくしてもらったことへの心地よさを感じる。 ○ルールや決まりについて感じたことや思ったことを知らせようとする。
意欲・集中力	○初めての遊具や用具に興味や関心をもって取り組もうとする。 ○自分の好きな遊びを見つけて遊ぼうとする。	○好きな遊びを見つけて、十分に楽しむ。 ○色々な感触を味わい「気持ちいい」「不思議だな」など様々なことを感じながら繰り返し挑戦する。 ○身近な動植物にふれ、興味をもって観察したり、調べたり、生長に気付いたりする。	○みんなで一緒に運動する楽しさを感じ、力を合わせようとする。 ○色々な素材に触れ、自分なりに考え工夫しながら遊びに取り入れようとする。 ○自然の変化に気づき、感動したり自然物を遊びに取り入れたりしながら遊ぶ楽しさを感じる。	○試したり、工夫したりしながら繰り返し遊びを進め、できた喜びを感じる。 ○冬の自然現象に触れ、感動したり疑問をもったりする。 ○劇遊びの中で自信をもって自分なりの表現をし、認めてもらえる嬉しさを感じる。 ○数や形、文字に興味をもち遊びの中で使おうとする。
遊び・活動の例	○ふれあい遊び ○砂場遊び ○固定遊具遊び	○新聞紙遊び ○水遊び ○ボール遊び ○小麦粉粘土、片栗粉粘土遊び ○フィンガー・ボドイペインティング ○ローラー・のっほ筆遊び	○リズム遊び ○ごっこ遊び ○ボール遊び ○言葉遊び ○クラス全体での話し合い活動 (自分で考える、自分の思いや考えを言葉で伝える、友達の話を聞く)	○縄遊び ○劇遊び ○おわらべ歌遊び ○正月遊び (伝承遊び) ○ルールのある遊び
教師のかかわり	○絵本・絵画活動・リズム表現遊び ○安心して園生活を過ごすことができるように、一人一人と丁寧にかかわりを深めるようにする。	○友達と共に遊びを進めていけるような場を準備しておく。 ○遊びの楽しさを十分に感じられるように共に遊びを進める。	○クラス全体で一つの遊びを進める楽しさを感じられるようにする。 ○遊びを通して幼児同士のつながりが深まっていくようにする。	○友達の声や姿に目を向けることができる場面を多くもつようにする。 ○自分の考えや思いに自信をもてるようにしていく。

学びにつながる力についての年間指導計画 年長5歳児

ねらい	<p>○自分の思いをしつかりと話す力、相手の思いを聞く力を身に付け、伝え合いながら遊びや活動を進める。 ○遊びや活動に対して、強い興味や関心をもちながら、意欲的に最後までやり遂げようとする。</p>			
時期	年長Ⅰ期（4・5月）	年長Ⅱ期（6・7・8月）	年長Ⅲ期（9・10・11・12月）	年長Ⅳ期（1・2・3月）
コミュニケーション力	<p>○自分の思いや考えを言葉でしっかりと表しながら、園生活を送る。 ○遊びや活動の中で、自分のイメージを伝えながら進めようとする。</p>	<p>○自分の思いや考えを話し、相手の思いを聞きながら遊びや活動を進める。 ○2～3人の友達と一緒に1つのものを作ったり描いたりすることを楽しむ。</p>	<p>○4～5人のグループでイメージを共有しながら遊びや活動を進める。 ○自分の思いを話し、相手の思いを受け入れながら折り合いをつけられるようにする。</p>	<p>○クラスのみんなで同じイメージや目的に向かって活動を進める。 ○相手意識をもって、話したり思いを寄せて聞いたりする。</p>
意欲・集中力	<p>＜自分の思いを十分に出す時期＞</p> <p>○好きな遊びをする中で、自分の思いを十分に出し、発見を楽しむながら遊びを楽しむ。 ○ダイナミックな遊びを経験し、発散しながら楽しんで遊ぶ。</p>	<p>＜葛藤しながら折り合いをつけていく時期＞</p> <p>○砂場での泥んこ遊びや泡遊び、色水遊びをする中で、変化を楽しんだり不思議さに気付いたりして遊ぶ。</p>	<p>＜協同的な活動をしていく時期＞</p> <p>○自分の思いやイメージに向かって、工夫したり、試行錯誤したりしながら繰り返し遊ぶ。 ○友達と一緒に活動する中で、うまく進まないことがあるても、諦めずに取り組む。</p>	<p>○自分の目的に向かって繰り返し挑戦して遊ぶ。 ○数や文字にふれて遊び、興味を深め、遊びや生活の中で使う。 ○みんなでひとつのことをやり遂げた満足感を味わう。</p>
遊び・活動例	<p>＜新たな気付きや発見を喜ぶ時期＞</p> <p>○砂場遊び ○ダンボール遊び ○新聞紙遊び ○2～3人での製作 ○遠足での発見カードを使った活動</p>	<p>＜疑問を感じ、変化を楽しんで遊ぶ時期＞</p> <p>○ボール遊び ○ボダイペイペンディング ○小麦粉粘土 ○水・砂・土等で遊ぶ</p>	<p>＜試行錯誤する時期＞</p> <p>○お部屋さんごっこ ○運動会に向けての取組み ○作品展共同製作 ○どんぐり転がし</p>	<p>＜目的に向かって繰り返し挑戦する時期＞</p> <p>○お正月遊び ○お鬼ごっこ ○縄跳び ○生活発表会に向けての活動</p>
教師のかかわり	<p>○一人一人の思いを受け止め、遊びや活動に対する姿勢を把握する。 ○友達と言葉でやりとりしながら遊びを進めていけるように見守り、必要に応じて援助していく。 ○幼稚園でしか経験できない遊びや、自然と友達と力を合わせられるような遊びをたくさん経験できるようにする。 ○少人数のグループの中で一人一人が思いを出して活動できるように活動内容を工夫し、援助していく。</p>			